

2017（平成 29）年度予算について

青山学院財務部

青山学院の 2017（平成 29）年度（以下、当年度）資金収支予算及び事業活動収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年 3 月 23 日開催の評議員会、引き続き開催の理事会で承認されました。

本学が 2014 年の創立 140 周年を機に、150 周年に向けて策定した「AOYAMA VISION」では、グローバル教育の推進、ボランティアセンター設置、大学新図書館建築など様々な施策を計画し、各設置学校及び法人各部署が連携して、その実現に向けて取り組んでおります。「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策を実施するためには、財政基盤の強化が必須になります。募金の推進などの取り組みだけでなく、2015 年度予算編成から、収入を安定的に確保し、収入に見合う支出予算を組み立てるよう編成方法の見直しも行いました。当年度予算では、新たな取り組みから 3 年目となり、各設置学校では、収支を強く意識し、収入拡大に努力しております。本学では、積極的な施策を実施していくため、今後とも財源の確保につとめてまいります。

当年度の予算編成に先だち、2016 年 7 月 1 日に理事長名で「2017 年度予算編成方針」を各設置学校及び法人各部署に発信しました。具体的には、「①「AOYAMA VISION」の実現、②サービス・ラーニング、グローバル教育による教育の質の向上、③既存予算の抜本の見直し、④青山学院 EVERGREEN150 募金の推進、⑤受託事業収入の拡大」などを支出予算、収入予算の編成方針とし、これらにより教育・研究の充実と財政基盤の強化を図ることを基本方針とするものです。

当年度予算の収入面では、前年度予算に比べると、学生生徒等納付金は大学の学費改定（2016 年度に改定し 2 年目）や新設学部の学年進行、高等部、中等部の学費改定などにより増収を見込み、寄付金は青山学院 EVERGREEN150 募金の強化に取り組んでまいります。

一方支出面では、「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策、教育研究系システム及び事務系システムの更新を予算に計上いたしました。また各設置学校、法人各部署は支出予算の目的を検証し、抜本的な見直しを行うことで、新たな施策のための予算を織り込んでおります。

当年度実施予定の主な支出項目としては、

- ① 青山キャンパス再開の一環としての中等部校舎建替工事費用（第二期）
 - ② 教育研究系システム、事務系システムの更新費用
 - ③ 法令改正に伴う各キャンパス建物大規模天井落下防止対策工事費用
 - ④ 「AOYAMA VISION」の実現に向けた施策のための費用
- 等があります。

本年 2 月には中等部校舎建替工事（第一期）が完了し、新校舎が完成いたしました。当年度は第二期工事が開始されますが、同時に大学新図書館構想に伴う調査も実施いたします。

本学は「AOYAMA VISION」の達成に向け、その財源を確保すべく収入の拡大、支出の抜本の見直しを行って、引き続き財政基盤の強化を図ってまいります。

以上